

スポーツ推進特別委員会 報告

1. 委員構成

委員長：東野 真樹

副委員長：上野 清隆

委員：中川 敬雄、上田 朋和、稲垣 清也、林 茂信、林 俊昭、川下 勉

2. 調査目的

加賀市におけるスポーツ施策について、「施設整備・運営」、「教育・健康増進」、「人口減少対策・交流人口増大」の3点を主な協議課題とした調査研究。

3. 調査期間

令和6年9月25日～令和7年9月3日

4. 委員会等開催状況

	委員会	委員協議会	行政視察
令和6年	2回	1回	0回
令和7年	6回	0回	1回
合計	8回	1回	1回

5. 協議・報告事項件数

15件（令和6年4件、令和7年11件）

6. 行政視察

令和7年1月16日～令和7年1月17日

○兵庫県姫路市議会

・手柄山スポーツ施設整備運営事業について

○兵庫県芦屋市議会

・芦屋市スポーツ推進実施計画について



▲姫路市



▲芦屋市

7. 調査の結果

加賀市においては、65歳以上の高齢者人口は、令和2年をピークに減少に転じているが、75歳以上の後期高齢者人口は、令和9年にピークを迎える。

こうした高齢者が、身体を健康を維持するために、個々人の特性や好みに合わせたスポーツを「すること」はたいへん有効であり、スポーツを「みること」によってこころの健康を保つことも重要である。また、指導者などとして、後進のスポーツ活動を「ささえること（支援すること）」は、貴重な技術や知識といった重要な『財産』の継承につながる。

このように、高齢者をはじめとする全ての市民は、スポーツを「すること」によって、また、「みること」によって、そして「ささえること（支援すること）」によって、生涯にわたって健康で、豊かな暮らしを過ごすことが可能になると考えられる。

また、スポーツを通じた交流は、国内に止まらず、国外にも広がる可能性がある。

本委員会は、スポーツが全ての市民にとって重要な役割を担うものであると考え、加賀市におけるスポーツ関連施策を「施設整備・運営」「教育・健康増進」「人口減少対策・交流人口増大」という協議課題に分けて調査してきた。

これらの協議課題については、本市の現状と今後の予定などを中心に関係所属長の出席を求めて、ヒアリングを重ねてきたところである。

また、令和7年1月16日には姫路市におけるスポーツ施設整備運営事業について、同17日には芦屋市のスポーツ推進実施計画について、実地調査を行った。

これらの調査・研究の結果、加賀市におけるスポーツ関連施策について、課題とそれに対する対応を取りまとめた。

以上のことから、当局に対し、「加賀市におけるスポーツ関連施策についての提言書」を提出することとし、スポーツを「すること」によって、また、「みること」によって、そして「ささえること（支援すること）」によって、全ての市民が生涯にわたって健康で、豊かな暮らしを過ごすことができるような取組がなされるよう要望する。